

【消費生活の窓口から】

知っていますか？ 香りのエチケット

～自分にとって良い香りでも、
その香りが苦手な人もいます！～



化粧品、香水、合成洗剤、柔軟仕上げ剤などの香りで頭痛や吐き気がするという相談が全国的に寄せられています。特に柔軟仕上げ剤は、2000年代後半から香りの強い海外製品がブームになったのをきっかけに、芳香性を工夫した商品の品ぞろえが増え、現在は、消費者が香りの強さや種類を選択できるよう様々な商品が販売されており、国民生活センターでは毎年130～250件程度の相談情報が寄せられています。

- 〈相談事例〉・隣家が使用している柔軟仕上げ剤のにおいで自分と娘に頭痛やめまい、吐き気が起きた。 (50歳代 女性)
- ・5、6年ほど前から、客の衣類から洗剤や柔軟仕上げ剤の強い香りが漂ってくると、呼吸が苦しくなり鼻水が出るようになった。退店を促すこともできず我慢している。 (50歳代 男性)
- ・いつもとは違う柔軟仕上げ剤を使用したところ、頭痛、吐き気、涙目になり、気分が悪くなった。 (30歳代 女性)

【アドバイス】

- ◆**香りの感じ方には個人差があります。**自分にとっては快適なおいでも、他人は不快に感じ、中には体調を崩すという申し出もあるということを認識しておきましょう。
- ◆**香り付き製品の使用に当たっては、周囲の方にも配慮することが大切です。**自分では香りが弱いと感じても、周囲には強い香りに感じられることがありますので、注意しましょう。
- ◆**使用量の目安を参考に、過度な使用は避けましょう。**

※詳しくは、以下の各団体のホームページをご覧ください。

- ・国民生活センター「[柔軟仕上げ剤のにおいに関する情報提供（2020 年）](#)」
- ・消費者庁「[その香り困っている人もいます（ポスター）（PDF）](#)」
- ・日本石鹼洗剤工業会「[柔軟仕上げ剤の香りに関して](#)」
「[柔軟仕上げ剤～知っておきたい香りのマナー～](#)」他

※ご相談・お問い合わせ先

中山町消費生活相談窓口（住民税務課 住民G内） ☎ 6 6 2 - 2 5 9 3